

会 議 要 旨

会 議 の 名 称	令和7年度第2回川越市健康づくり推進協議会
開 催 日 時	令和8年2月4日(水) 午後1時30分 開会 ・ 午後2時35分 閉会
開 催 場 所	川越市保健所 2階大会議室
議長(委員長・会長)氏名	会 長 松本 吉郎
出席者(委員)氏名(人数)	副会長 村田 一男 委 員 宮山 徳司、西村 早苗、須田 弘子、館 水晶、 山田 美喜子、本木 春男、長峰 す美子、志村 洋子、 大澤 克哉、江尻 旬子(11名)
欠席者(委員)氏名(人数)	委 員 深井 智子、金井 進、鶴田 淳子、三戸 まさみ、 米原 民子、松本 清一、森田 繁子(7名)
事務局職員氏名	課 長 千葉 幸子、副課長 有馬 理恵、副主幹 松百 友紀子、 主 査 小高 久美子、主 査 矢島 敬子、主 査 高橋 舞子、 主 査 松崎 友宏、主 任 根岸 大貴
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ 3 報 告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 健康かわごえ推進プラン(第3次)の取組について (2) 大東地区市民の健康・食生活に関するアンケート調査の結果について 4 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第9章「自然に健康になれる環境づくり」における取組について (2) 各団体における取組等について (3) その他 5 そ の 他 6 閉 会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次 第 ・委員名簿 ・資 料1 健康かわごえ推進プラン(第3次)の取組について ・資 料2 大東地区市民の健康・食生活に関するアンケート調査報告書 ・資 料3 第9章「自然に健康になれる環境づくり」における取組について ・参考資料1 川越市市民健康講演会チラシ ・参考資料2 ねんりんピックチラシ

議 事 の 経 過

発言者	議題・発言内容・決定事項
司 会	1 開 会
	2 あいさつ
	3 報 告
事務局	(1) 健康かわごえ推進プラン（第3次）の取組について 資料1に基づき説明
	(質疑応答) 無し
事務局	(2) 大東地区市民の健康・食生活に関するアンケート調査の結果について 資料2に基づき説明
	(質疑応答) 無し
	4 議 事
事務局	(1) 第9章「自然に健康になれる環境づくり」における取組について 資料3に基づき説明
	自然に健康になれる環境づくりにおいて、健康づくりを推進するための関係機関や団体等の連携や協働が不可欠と考える。更なる連携強化の方法として5つの案を提案させていただいたが、5つの案を実行する上でヒアリングや活動内容の共有等に時間を設けていただくことは可能かどうか検討いただきたい。
	(質疑応答)
委 員	資料3内の「健康情報」という表現はくくりが大きいのではないかと。健康といっても歯や食事、運動など様々な面から色々な情報があると思うが、どのような発信を想定しているのか。
事務局	健康情報には、分野・ライフステージについて様々なことが考えられるが、受け取る人が受け取りやすいようなやり方で情報発信を考えている。例えば、若い層であればSNSの利用や、高齢者であれば紙媒体を利用することなどである。
委 員	(2) 各団体における取組について 川越市自治会連合会
	健康であることは医療費の削減につながることは明確である。市民全員が健康であることが1番だがそうでない方もいるのが事実であり、健康でない方に寄り添うことも大切であるとする。
委 員	川越市薬剤師会
	川越市社会福祉協議会からの依頼があり、市民向けの薬に関する各種セミナーを実施している。

<p>委員</p>	<p>埼玉県歯科衛生士会川越支部 7月発表時から新たな取り組みはない。 市が今年度から実施しているファミリー歯科健診事業は、幼児から高齢者まで幅広い年齢層への指導が一度に必要であり、それぞれ指導内容も異なるが、良い取組であり、また、歯科衛生士としては良い勉強になっていると感じる。</p>
<p>委員</p>	<p>川越市社会福祉協議会 困りごとの解決につなげるため「めぐり逢エールかわごえ」を開催しており、2月26日には川越市薬剤師会と協力し、市民の皆さんへ薬に関するセミナーを実施する。引き続き市民の皆さんに向けたこのような活動を継続していけるようにしていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>川越市老人クラブ連合会 健康づくり、生きがいづくり、地域づくりを目標に活動している。 年間をとおして活動内容は決まっている。全6部会がそれぞれ活動しているが、すべて健康につながる活動であると考え。直近のイベントでは、「作品展」を3月10日から公民館や図書館で実施予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>川越市保健推進員協議会 地域住民の健康づくり応援団として活動しており、全22支会の約80名が季節に応じた健康に関する情報について、公民館だより内に「保健推進員だより」として記事を掲載すること等により地域住民へ提供している。毎年県民の日に健康フェスタを実施している。内容としては、当協議会の活動内容の紹介や、お元気さんポスターの展示、民間企業や各種講師の方を招き協働で健康に関する情報の発信を行っている。</p>
<p>委員</p>	<p>地域活動栄養士PFCの会 栄養士、管理栄養士の資格を持ったメンバーで活動している。 主な活動内容は健康かわごえ推進プラン（第3次）冊子の138頁に記載されているとおりである。議事（1）で事務局から提案のあった、健康に関する情報を市HPに掲載することは賛成である。また当会の会報誌の内容を市HPに掲載していただくこともよいのではないかと考える。また、近年認知症が増加傾向だと思いが、食生活から認知症予防をしていきたいと会員から意見が出ており、そのような活動も今後はしていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>川越市PTA連合会 当会から発信する健康に関する話題は少ないが、ここ2,3年は家庭教育学級のなかで、健康づくり支援課と協力し、食育のことや日々の生活についての健康に関する情報の提供をいただいている。 また、学校では子どもたちの健康問題として、心の健康が課題になっている。それが原因で学級崩壊を起こす等の様々な問題が起こっている状況である。当会では、子どもの体の健康と併せて、心の健康についても推進していきたいと考えている。心の健康に関するアドバイスがあれば提供していただきたい。</p>

委員	<p>健康づくりボランティアグループやまぶき21 水上公園でウォーキングイベントの実施、脳トレの実施、いもっこ体操の実施等 こどもからお年寄りまで各地域で健康に寄与できるような活動を行っている。ボ ランティアグループなので会員の増加が難しい状況である。皆さんのお知り合い でボランティアに興味がある方がいれば当会の案内をお願いしたい。</p>
委員	<p>川越市医師会 乳幼児健診から学校健診、特定健診等の各種健診で疾病の早期発見、予防につな げている。また2月15日には市民健康講演会を実施予定である。今後も引き続 き健康まつりへの協力などの各種活動を行っていききたい。</p>
事務局	<p>学識経験者からご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>健康になるためには、生活習慣と生活環境の改善が必要である。 生活環境の改善については、資料の内容は的確であるため、そのとおり進めてい ただきたい。しかし、簡単なことではなく、事業実施では参加者が少ない等の問 題がある中で地域の皆さんへ届けようとするは大変な貢献があると考ええる。 一方で、「生活習慣病に気を付ける」といった観点から、食事、運動、睡眠、休 養について具体的な取り組みが記載されているが、そこが少し心配である。一人 一人が主体となり自ら行動していく上で、あふれるくらい様々な情報があること で、真面目にすべてのことを聞いていると逆に不安になってしまうのではない か。そのような状況の中で、果たしてその情報は全て自分に必要なのか。自分が 置かれている状況を把握することが健康づくりへ近づくことだと感じる。正しい 情報の普及だけではなく、今のあなたはどうか、あなたにできることは何な のか、を一緒に考えるという側面を追加しないとなかなか進まないのではない かと感じる。細かく事業内容を記載しているのは大変素晴らしいことではあるが、 主体を相手に置くことも必要なのではないか。そのように転換する段階に来てい るように感じるため、その点にも留意した上で活動をしていただきたいと思います。</p>
委員	<p>健康はそれ自体が目的ではなく、手段である。 その人が楽しく生活するために様々な手段があると思うが、その一つが健康であ ると考える。市から説明があった大東地区市民に関するアンケート調査の結果は うのみにしてはいけなないと考える（慎重に受け止めた方がよい）。本調査中で、 自分がしなくてもよいと思われることを望んでいるためである。当大学の実習の 中で社員食堂のメニュー開発や健康をうたったお弁当を販売することがあるが、 売れるのは一部である。健康を前面に出すことで、健康に関心がない方には届き づらく、その方たちにどのようにしたら届くのだろうかということを考えていく 必要があると感じる。例えば、今の学生たちにうどんやパスタのゆで方について の時短になる方法を教えてもピンとこないのである。今は電子レンジでうどんや パスタを時短で調理できる時代であり、それが学生にとっての当たり前なのであ る。したがって、今の時代や個人に合った教え方を探りながら現状を知ることも 我々にとっては必要ではないだろうか。 また、各団体、会員を集めることに苦慮されていると思う。新たにそこに属する というのは重い決断である。会員の増員を図る上で、お試し期間なるものを設け て気軽に体験をしていただけるような環境を作ることも大切なのではないかと</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>考える。</p> <p>(質疑応答) 無し</p> <p>(3) その他について 特になし</p> <p>5 その他 川越市市民健康講演会、ねんりんピックについて、参考資料1, 2に基づきそれぞれ説明。</p> <p>6 閉 会</p>
----------------------	---